

国際会議等の誘致

国際会議等（MICE）誘致推進事業

東日本大震災の発生以降、本県は「地震・津波・原発・風評」の4つの被害から立ち上がるために邁進しているところである。今後被害の克服を図り、復旧・復興を遂げていく中で、国際会議等を誘致し開催に結びつけることは、風評の払拭はもちろん、震災以降の福島イメージ回復を図り、更なる県の魅力の発信や観光・商工業・農業等も含めた地域経済の活性化のためにも絶好の機会になると考えられる。

このため、本県では外務省や観光庁などの中央官庁や日本政府観光局（JNTO）、関係機関への働きかけなどを行い、県内での国際会議等誘致に取り組んでいる。

さらに、本県で開催される国際会議等に際しては、風評の払拭及び県の魅力発信を目的に、視察コースの設定や案内、会議会場内における県復興状況等のパネル展示やプレゼンテーションの実施、観光・物産の展示、レセプションにおける県産品の利用などにより、参加者を通じて世界へ正しい情報を発信している。

1 県内における国際会議等開催実績

(単位：件数)

	国際会議(C)	国際ミーティング(M)	報奨旅行・研修旅行等(I)	展示会・イベント等(E)	合計
令和5年度	14	1	23	2	40
令和6年度	15	0	26	1	42
令和7年度	11	0	25	2	38

※1 令和7年12月末現在(国際課調べ)

※2 MICEはMeeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行、(インセンティブ旅行)）、Convention（国際機関・団体、学会等が行う国際会議）、Exhibition/Event（展示会・見本市、イベント）の頭文字

※3 国際会議件数：日本政府観光局（JNTO）基準を参考に集計

2 令和7年度の主な実績

会議名	開催日	主催	開催地	規模	県対応
福島県 WWL 高校生国際サミット	令和7年8月	福島県教育委員会、福島県 WWL 高校生国際サミット実行委員会	広野町	対面 8 カ国 97 名、リモート 1 か国 1 名	あり
第14回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま2025）	令和7年10月	福島県・公益財団法人福島県産業振興センター	郡山市	4 か国 5,100 名	あり
メディカルクリエーションふくしま2025	令和7年10月	福島県、一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構	郡山市	2 か国 4,000 名	あり
The Fifth Conference on Advances in Radioactive Isotope Science (ARIS2026)	令和8年2月	大阪大学核物理研究センター、理化学研究所仁科加速器科学研究センター、東京大学原子核科学研究センター	福島市	25 カ国	なし